

平成30年3月16日

NANKAI

南海電気鉄道株式会社

総務部（広報担当）

〒556-8503

大阪市浪速区敷津東2-1-41

Tel 06-6644-7125

Fax 06-6644-7123



インバウンド対応をさらに強化します！

- ◆お客さま案内ツール「NANKAI TRAVEL GUIDE」運用開始
- ◆タブレット端末を用いた多言語列車放送システム導入

南海電鉄（社長：遠北 光彦）では、中期経営計画「深展133計画」において、基本方針として「関空・インバウンド事業の拡大」を掲げ、各種施策を実施しています。

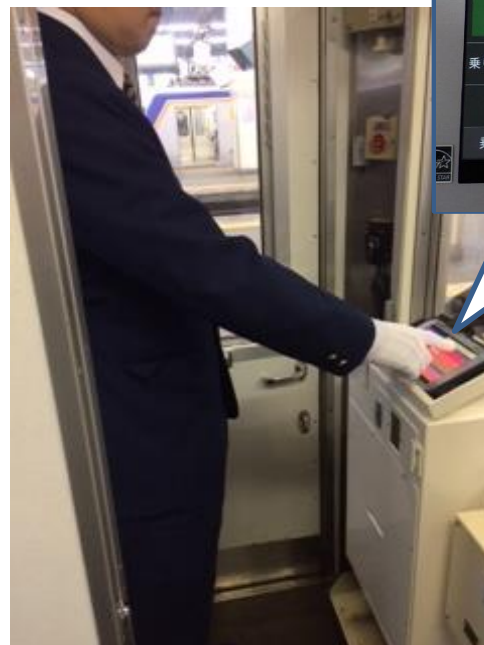
このたび、増加する訪日外国人旅行客への案内サービスの拡充と、駅窓口案内の迅速化による混雑緩和を図るため、QRコードとWEBサイトが連動したお客さま案内ツール「NANKAI TRAVEL GUIDE」の運用を開始するとともに、ワンマン区間を除く南海線の全線において、タブレット端末を用いた多言語による列車放送システムを導入します。

当社はこれからも、案内サービスの拡充を通して、お客さまが必要な時に必要な情報を得られる環境を整備し、鉄道利用の利便性の向上を図っていきます。

詳細は別紙のとおりです。



「NANKAI TRAVEL GUIDE」
スマートフォン使用画面イメージ（英語）



「タブレット端末を用いた多言語列車放送システム」
使用イメージ

<資料配布先>青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ、関西国際空港記者会

この資料についてのお問い合わせは
南海電鉄・総務部（広報担当） TEL：06-6644-7125

「NANKAI TRAVEL GUIDE」について

1. 概要

多言語に対応したお客さま案内用WEBサイトを新たに開設し、WEBサイトにつながるQRコードを掲載したポスターやカードなどを南海本線・空港線の駅に設置して、お客さまへの案内サービスを拡充します。

2. 運用開始日

平成30年3月24日（土）

3. WEBサイトについて

(1) 掲載内容

乗車券の購入方法、改札機の使用法、他社線への乗換え方法、沿線観光地の情報、マナー啓発など当社鉄道サービスに関わる内容を掲載します。

また、乗換え方法の案内には、VR（バーチャルリアリティ）を活用した360度表示を使用しています。スマートフォンなどの端末を通して、実際に現地で目にするのと同様の目線で確認することができます。

(2) 言語

15言語（日本語、英語、中国語＜繁体語・簡体語＞、韓国語、タイ語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ロシア語、アラビア語、インドネシア語）

4. QRコードによるお客さまへの周知

難波駅や関西空港駅などの各駅に、WEBサイトにつながるQRコードを掲載したポスターやパンフレット、ステッカー、カードなどを設置し、お客さまが鉄道を利用する際に、必要な情報を確認できる環境を整えます。

また、インバウンド向け企画乗車券のチラシにQRコードを掲載し、海外の旅行代理店に配布することにより、訪日前のお客さまにWEBサイトをご確認いただき、当社の鉄道サービスをスムーズにご利用いただけるようにします。

【設置駅】 難波駅、新今宮駅、天下茶屋駅、りんくうタウン駅、関西空港駅、橋本駅
※上記は主な設置駅であり、その他の駅に設置する場合があります。



QRコードを掲載したポスター



QRコードを掲載したカード

タブレット端末を用いた多言語対応の列車放送システムの導入について

1. 概要

乗務員（車掌）が携帯するタブレット端末を、車両の放送装置に接続することで、**多言語（日・英・中・韓）による案内放送や、マナー啓発放送、異常時案内放送を行うことができるシステム**です。ワンマン区間を除く南海線全線で導入します。

2. 導入開始日

平成30年3月29日（木）から順次導入 ※すべての車両への導入は平成30年9月末予定

3. 導入数

(1) 導入路線・車両

ワンマン区間を除く南海線を走行する特急車両および一般車両
※多言語自動放送装置導入済みの車両を除きます。

【多言語自動放送装置導入済みの車両】

1000系、8000系、8300系、12000系（新型サザン）、
50000系（ラピート）

※12000系（新型サザン）は日・英の2言語のみです。

※1000系車両については現在、更新工事を進めており、未更新車両には多言語自動放送装置は装備されていません。

(2) タブレット端末

120台（予備を含む）

4. 放送内容

(1) 言語

日本語、英語、中国語、韓国語

(2) 放送項目

ア、始発駅放送（列車種別、行先、停車駅）

イ、次駅放送（次駅、次々駅、乗換え案内）

ウ、到着放送（到着駅、次駅、乗換え案内、出口案内）

エ、マナー啓発放送（携帯電話使用方協力依頼、手荷物整理案内など）

オ、異常時案内放送（事故発生時など）

※放送内容は、すでに8000系や8300系などで実施している自動放送と同様です。

5. その他

本システムは、近畿日本鉄道と近鉄車両エンジニアリングが共同開発し、近畿日本鉄道で使用されているものを当社用に改修したもので、第15回日本鉄道賞の日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞「安心インバウンド対応」を受賞しています。

台座部分にタブレット端末を設置し、放送装置に接続



タブレット端末



列車の運転台に設置する放送装置